

# 富山平野及び砺波平野の活断層図

## 凡例

- 活断層
- 推定活断層
- + 活背斜
- +++++ 鉄道
- 鉄道(トンネル)
- 高速・有料道路
- 主な河川

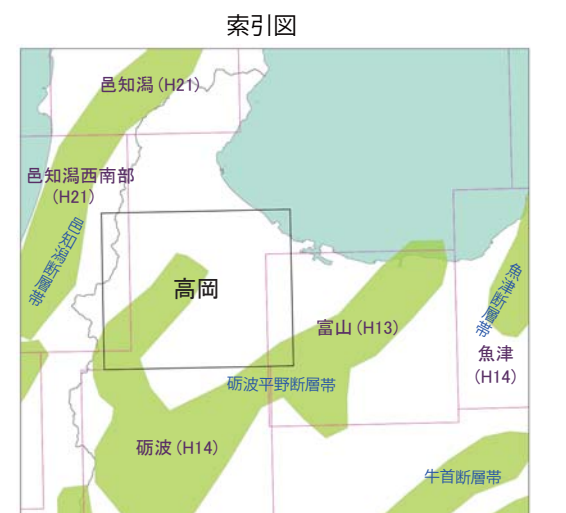
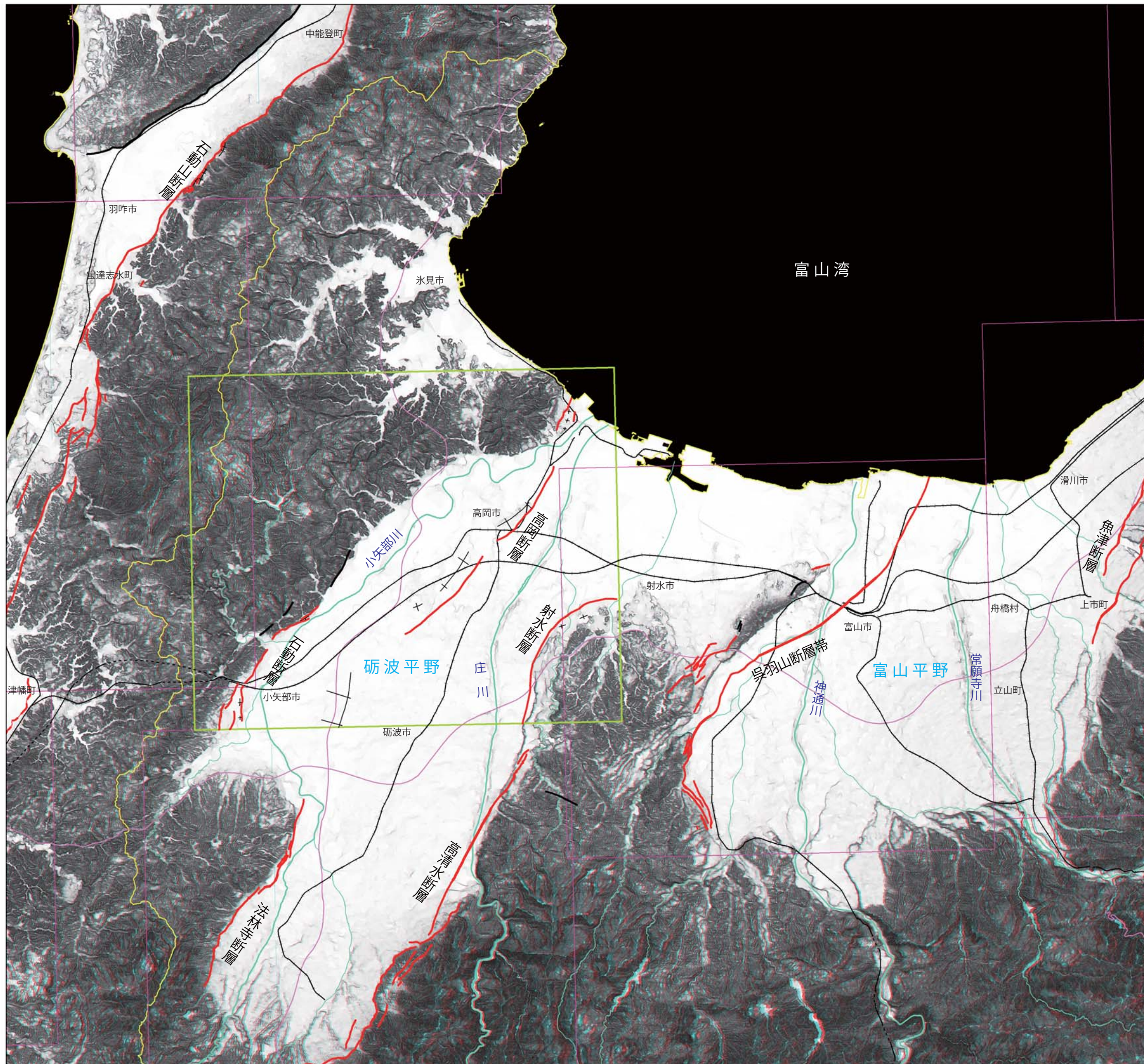
※凡例のうち、活断層は「明瞭」「位置やや不明瞭」「伏在部」を統合、推定活断層は「地表」「地表(位置不明瞭)」を統合して表示しています。

「富山平野及び砺波平野の活断層図」は、基盤地図情報「数値標高モデル10mメッシュ」を使用して作成した地形アナグリフ画像に、活断層の分布を重ねて表示したものです(活断層は都市圏活断層図の調査で明らかになったもののみを図示しています)。

富山湾に面する富山平野及び砺波平野は、常願寺川、神通川、庄川、小矢部川とそれらの支流により形成された扇状地性の堆積平野です。活断層は山地・丘陵の麓を通り、この地域の平野と山地を分け隔てているとともに、一部は沖積平野の下に伏在していると考えられます。

なお、この図は赤青メガネ(左目に赤色、右目に青色のフィルター)を通してみると地形を立体的に見ることができ、地域の地形を直感的に把握することができます。

(地形アナグリフ画像作成 後藤秀昭(広島大学))



(図名は都市圏活断層図幅名、断層帯名は地震調査研究推進本部による)

後藤秀昭・岡田真介・楳原京子・杉戸信彦(2015): 1:25,000都市圏活断層図 砺波平野断層帯とその周辺「高岡」解説書付図 国土地理院技術資料 D1-No.736.

